※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | １２０５ |
|---|---|

# 令和５年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 科学と人間生活 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂　科学と人間生活　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | ニューサポート　改訂　科学と人間生活　（東京書籍） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「科学と人間生活」は自然科学の見方や考え方を学ぶ科目です。中学校理科で学習した内容を基礎として、日常生活と関連付けながら、自然や科学技術に関する興味関心を高め、理解を深めていきます。

## ２　学習の到達目標

１．自然と人間生活との関わりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。
２．身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める。
３．科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。
４．科学に対する興味・関心を高める。
５．科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:観察・実験の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 私たちの生活を豊かにする身近な科学技術の発展、身近な自然現象や自然環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 | 科学技術、自然現象や自然環境が人間生活にもたらしてきたことや、科学技術の未来について考察し、考えを表現している。 | 身近な自然現象、自然環境や科学技術などの観察、実験、実習を通してそれらの過程や結果を的確に記録、整理している。 | 身近な自然現象、自然環境や科学技術などのしくみを理解し、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>探究活動の記録・発表 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>探究活動の記録・発表<br>定期考査の結果 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>観察・実験の記録<br>定期考査の結果 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>定期考査の結果 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 生物と光 | 植物の生育と光 | ○ | | | ○ | a:光と植物、ヒトの視覚の関係日常生活と関係の深い物質に関心をもち探究しようとする<br>b:光に対する生物の反応や資源の再利用について考察し考えを表現している<br>c:盲斑の検出やプラスチックの分類の実験からその過程や結果を的確に記録整理している<br>d:光合成と呼吸、循環型社会について理解し知識を身に付けている | 学習状況<br>ノート･ワークシート<br>観察･実験<br>定期考査 |
| | | 光シグナルと生物 | | ○ | | | | |
| | | ヒトの視覚と光 | | | ○ | | | |
| | 材料とその再利用 | 金属 | ○ | | | | | |
| | | プラスチック | | | ○ | | | |
| | | 資源の再利用 | | ○ | | ○ | | |
| 後期 | 身近な自然と自然災害 | 身のまわりの景観の成り立ち | ○ | | ○ | | a:身近な自然景観、光と色の現象について関心をもち意欲的に探究しようとする<br>b:地震や津波、光の屈折、反射のしくみについて考察し考えを表現している<br>c:地形の観察、光の屈折率から過程や結果を的確に記録整理している<br>d:自然災害の被害を最小限に抑える対策や光の性質を理解し知識を身に付けている | 学習状況<br>ノート･ワークシート<br>観察･実験<br>定期考査 |
| | | 自然災害と人間 | | ○ | | ○ | | |
| | 光の性質とその利用 | 目に見える光の世界 | ○ | | ○ | | | |
| | | 光の進み方とその基本的性質 | | ○ | | ○ | | |
| | | 見えない光とその応用 | | ○ | | | | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。